

会場

# 亀戸文化センター 大研修室

さくら会主催

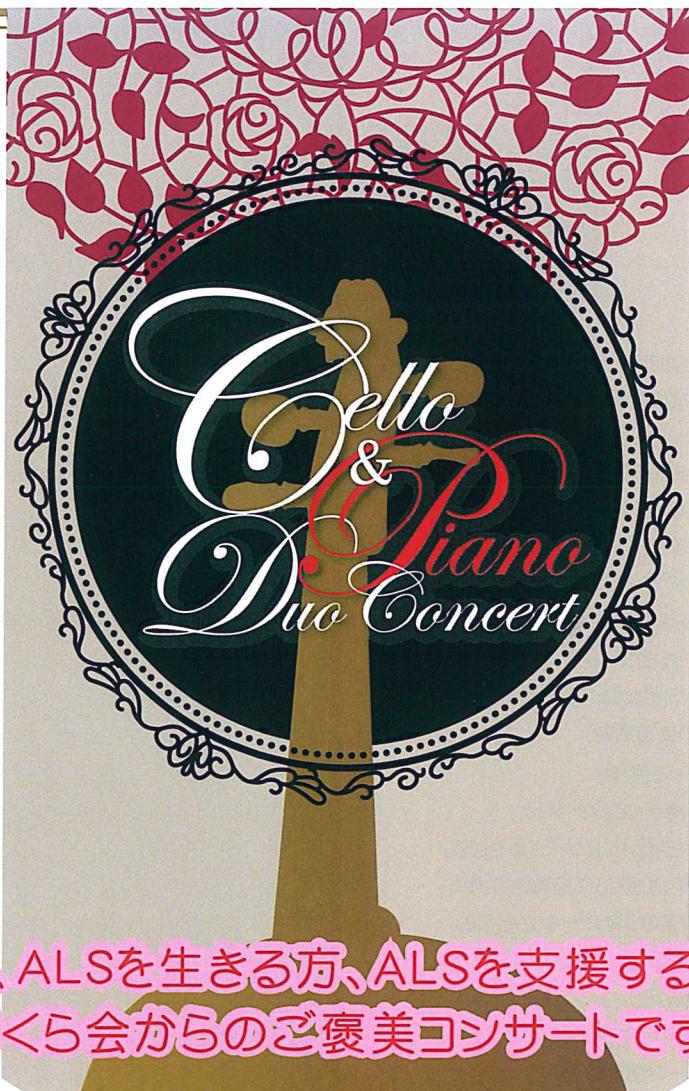
NPO 法人 ALS / MND サポートセンター

チエロとピアノのデュオコンサート  
～ウイーンの風、世界の風～

日時

2018年 5月18日(金)

「13時開場 / 13時30分開演」  
16時 終演予定



日々、ALSを生きる方、ALSを支援する方へ  
さくら会からのご褒美コンサートです!

入場無料(先着100名)

program

ベートーベン  
チエロソナタ

ピアノロ  
ショパンなど

サン・サーンス  
ドヴュッサーなど  
チエロ小品集

〒136-0071  
東京都江東区亀戸2-19-1  
カメリアプラザ5F

お申し込みは裏面を  
ご覧ください。

協力:NPO法人ICT救助隊

地図



Ken  
ter  
at  
Yos  
hi  
Pro  
file

# 吉井 健太郎

Yoshii  
Kentaro



1954年 東京生まれ。

6歳から父の手ほどきでチェロを始める。

東京芸術大学高等部在籍中に三木敬之氏に学ぶ。

1970年10月 16歳で単身ウィーンに留学。

KonservatoriumとHochschuleの両校にて

Prof. Hubner, Herzer, Lutzの各氏に師事。

1973年7月(18歳)ウィーン交響楽団オーディションに合格。

100年以上の歴史ある楽団の初めての東洋人採用となる。

1979年(25歳)同オーケストラの首席チェリストになる。

ピエール・フルニエ、ヨゼフ・シュタルケルの各マイスタークラス参加。

夏のブレーゲンツ音楽祭時に、"SOS-Kinderdorf" 活動に参加。

(SOS-Kinderdorf=社会的孤児の支援活動)

1998年 日本で初めてリサイタルを開催。

その時に、故團伊玖磨氏から「無伴奏チェロソナタ」と

「ヴァイオリンとチェロのための対話」を贈られ、リサイタルで初演。

2000年 横浜開催「DAN YEAR 2000」に招聘され再演。

(ヴァイオリンはウィーンフィルのコンマスのライナー・キュッヒル氏)

同年11月には東京の庭園美術館(旧朝香宮邸)ホールで

日本舞踊家・西川祐子氏(西川流宗家)と

「日舞とチェロのジョイントコンサート」で共演。

2002年 天皇皇后両陛下のウィーン訪問の際、

歓迎レセプションで皇后陛下のピアノトリオ演奏で共演。

2006年 永年の音楽活動が評価され、

オーストリア国より「プロフェッサー」の称号授与。

2013年 ウィーン交響楽団(40年在籍内34年間首席)を退団し

現在はソロチェリストとしてヨーロッパ各地で

演奏活動を続けている。

2014年5月15日に第62回神宮式年遷宮を祝し、

伊勢の神宮内宮参集殿能舞台において奉納演奏を行う。

# 鈴木 なほみ

Piano



大阪生まれ。4歳からピアノ、ソルフェージュを始め、14歳で渡欧。

ロンドンのバーセル音楽院、ギルドホール音楽院ソリストコースで学び、首席で卒業。その後、デンマークに活動の場を移し、王立音楽院及びインターナショナル・カレッジにて教鞭を執る傍ら、ヨーロッパ各地でコンサート。日本の音楽紹介にも努め、コペンハーゲンでレコーディングする他、常陸宮同妃両殿下の同国公式訪問に際して御前演奏。1998年よりイスラマバードにて様々なチャリティー・コンサートを通じ、日・パキスタン関係に貢献。2001年から活動拠点となったウィーンではピアノソロ、室内楽で活躍。コンセルトハウス、楽友協会プラームスザール等、一流ホールで多数の演奏会を行い、オーストリア国営ラジオでも放送される。吉井氏と共にイギリス人作曲家ブリッジのチェロとピアノのソナタのウィーン初演に対し、2006年に英財団より助成金が授与される。2009年から3年間住んだガーナにおいてマラリア撲滅NGO団体の理事として活動。二度の盛大なチャリティー・コンサートの収益金を全額寄付する形で、病院のない地方に二軒のマラリア治療クリニックを寄贈することに成功。2013年から2015年のタイ滞在中には、バンコクでの様々なコンサート活動等により、貧困にあえぐ身寄りのない子供達の学校及び孤児院への寄付活動や難民支援に携わる。2015年より東京都世田谷区に在住。

きりとり

5月18日 チェロとピアノのコンサート

お申し込み FAX 03-5937-1371

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

人数 \_\_\_\_\_

車椅子

メールアドレス \_\_\_\_\_

メールでのお申し込み  
さくら会研修センター  
sakura.nkc@gmail.com

メモ